



2023年12月14日

各位

会社名 ジェイドグループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 田中 裕輔
(コード番号: 3558 東証グロース)
問合せ先 管理本部ディレクター 高 志成 俊
(TEL. 03-5465-8022)

2023年11月度における営業利益の進捗のお知らせ

靴とファッションの通販サイト、LOCONDO.jp (<https://locondo.jp>) を運営し、Reebok Japan を運営するRBKJ 株式会社を子会社として有するジェイドグループ株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:田中裕輔)は、取扱高(親子間相殺前)と営業利益の2つを重要指標として設定し、今年度の事業計画としては以下の利益増計画を掲げております。

連結取扱高: 300億円~325億円(昨年比 +23%~+33%)

連結営業利益: 17.5億円(昨年比 +76.5%)

先月11月16日、3月~10月(8カ月間)の連結営業利益の計画進捗率(監査前の速報値)が第3四半期終了時点の目安である75%(13.125億円)を超過した旨をご報告いたしました。

その後の株価はポジティブに反応したものの(1,441円(11/16終値)→1,658円(11/17終値)、+217円)一部の株主様からは「第3四半期終了時点で進捗率75%という水準は十分とは言えないのではないかと」という声もございました。

仰る通り、第3四半期終了時点での進捗率が75%だった場合、それは十分とは言えません。ファッション業界においては8月(第2四半期)と2月(第4四半期)が「端境期」と言われる売上が最も落ち込む月で、かつ、当社は第2四半期、第4四半期において規定のルールに従って在庫の償却処理を行うため、第2四半期、第4四半期は利益を出しにくい期間になります。

付言すると上期(3~8月)は下期(9~2月)よりも商品単価が下がるため、第2四半期(6~8月)が年間通じて最も利益を出しにくい期間、次に第4四半期(12~2月)となります。

このビジネス特性と、今年度、第1四半期時点での営業利益の計画進捗率が30.8%、第2四半期で+14.8%であった事を加味すれば、第3四半期時点での進捗率が「85%」を超過して初めて順調に推移している、と言えると思います。

そして本日、監査前の速報値ベースになりますが、**第3四半期終了時のジェイドグループの営業利益が85%(14.875億円)を超過**した事をご報告いたします。正式な数字に関しては24年1月15日の第3四半期の決算発表をご確認下さい。

当社としては、好業績の背景にもなっている当社のPMI(Post Merger Integration)プラットフォームと35億円以上の現金(第2四半期終了時、銀行などの金融機関からの借入はゼロ)を活用し、更なるM&Aを積極推進することで「取扱高1000億円、営業利益100億円」の長期ビジョンの実現を目指しております。

今後も当社は「Make Brands Bright」のビジョンのもと、「ガンガン行こうぜ」モードで邁進します。

以上